

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

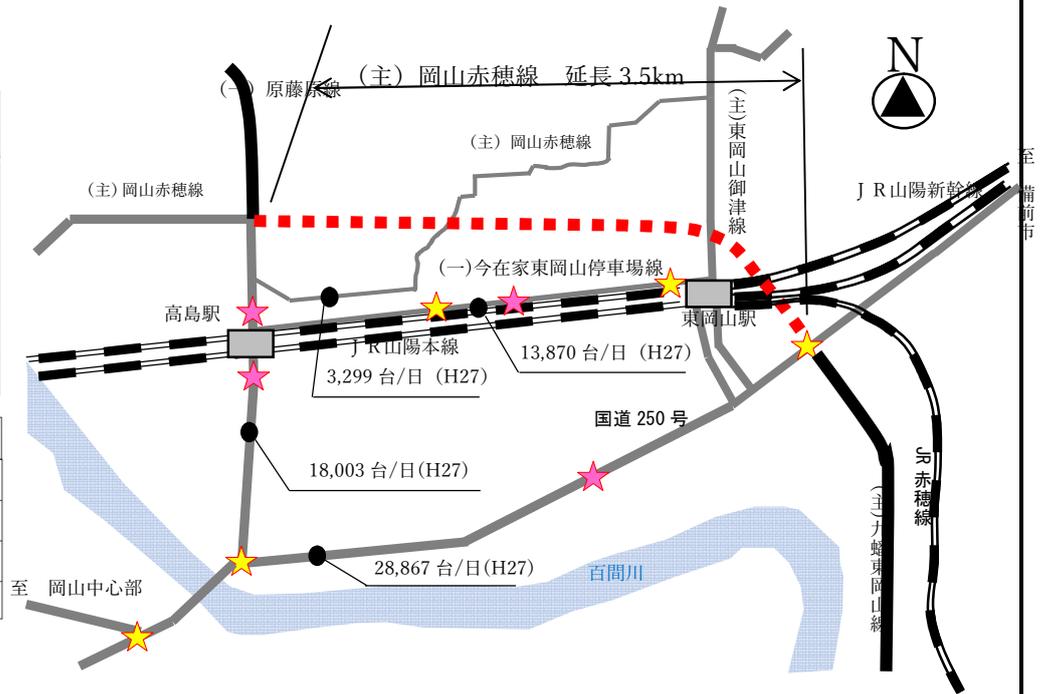
担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：渡辺 学

事業名	地域高規格道路 岡山環状道路 主要地方道 岡山赤穂線（中井～宍甘）		事業区分	地方道	事業主体	岡山市
起終点	自：岡山県岡山市中区中井 至：岡山県岡山市東区宍甘				延長	3.5 km
事業概要						
主要地方道岡山赤穂線は、地域高規格道路岡山環状道路の一部を構成する道路であり、市街地の渋滞緩和や交通事故減少等を目的とし岡山県岡山市中区中井～岡山県岡山市東区宍甘までの延長約3.5kmを整備するものである。						
H27年度事業化	S44年度都市計画決定 (H26年度変更)		H28年度用地着手		H28年度工事着手	
全体事業費	341億円		事業進捗率	18%	供用済延長	— km
計画交通量	27,100～31,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年 平成31年
	(残事業)	事業費：190/304億円 維持管理費：3/3億円		461/461億円 走行時間短縮便益：411/411億円 走行経費減少便益：40/40億円 交通事故減少便益：11/11億円		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=1.4～1.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.2～2.6(交通量±10%) 事業費：B/C=1.4～1.6(事業費±10%) 事業費：B/C=2.2～2.6(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.7(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.2～2.6(事業期間±20%)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、交通混雑の緩和や事故発生件数の低減を図る ・ 環状道路沿線には防災拠点が多数立地しており、緊急時の輸送ルートの確保を図る ・ 地域の生活道路に流入している通過交通を環状道路に誘導することにより生活環境の改善を図る 						
関係する地方公共団体等の意見						
地元町内会は工事施工について協力的であり、早期完成を望む声強い						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
特になし						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率 33%、事業進捗率 18% 残事業内容：橋梁詳細設計、用地取得、鉄道立体交差部改良、道路・橋梁新設						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
移転補償を伴う用地取得や鉄道事業者との協議に時間を要し、事業の進捗が遅れた 今後は鉄道立体交差部の工事を本格化していく						
施設の構造や工法の変更等						
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため						

事業概要図



凡例	
開通済	——
事業中	■■■■
主要渋滞箇所	★
事故危険箇所	☆



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。